

**京丹波町**  
**教育振興基本計画策定**  
**にかかると民アンケート調査**

**【アンケート結果報告書】**

平成 25 年 11 月

京丹波町

## 目 次

I	調査の概要	3
1	調査の目的	4
2	調査の概要	4
3	報告書の見方	4
II	調査の総括	5
1	全体総括	6
2	課題ごとの概観	7
III	調査データ	9
1	一般町民編	
1-1	回答者の属性	10
1-2	学校教育について	11
1-3	幼児教育・家庭教育・地域の教育力について	15
2	保護者編	
2-1	回答者の属性	19
2-2	学校教育について	20
2-3	幼児教育・家庭教育・地域の教育力について	28
3	自由回答集	31

# I 調査の概要

# 1 調査の目的

---

---

本調査は、町民の教育や生涯学習、文化・スポーツ活動等に対する意識を把握し、今後 10 年間の京丹波町の教育の方針となる「京丹波町教育振興基本計画」を策定していくうえでの基礎資料とするため、実施しました。

## 2 調査概要

---

---

- 調査地域 : 京丹波町全域
- 調査対象者 : (保護者用) 京丹波町に住む幼稚園・保育所・小学校・中学校の保護者  
(一般町民用) 京丹波町に住む 18 歳以上の男女
- 調査期間 : 平成 25 年 9 月 23 日～10 月 7 日まで
- 調査方法 : (保護者用) 幼稚園・保育所・小学校・中学校を通じて 460 件を配布・回収  
(一般町民用) 区長等を通じて配布、さらに CATV を通じて町民に呼びかけ、回答希望者に各支所で直接配布し、全 195 件を配布・郵送回収

仕様	配布数	回収数	回収率
保護者用	460	305	66.3%
一般町民用	244	155	63.5%

## 3 報告書の見方

---

---

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

## Ⅱ 調査の総括

# 1 全体総括

今回の「京丹波町教育振興基本計画策定にかかる町民アンケート調査」の実施の結果、計画策定において留意すべき点を下記の通り抽出致しました。

## 1. 現状把握

### <学校教育について>

まず保護者編／問3「お子さんは学校（園・所）の授業（活動）をどのくらい理解していると思いますか」の回答についてみると、『理解している』（「ほとんど全部」と「7～8割くらい」の合計数値）が68.6%となっています。また保護者編／問5「お子さんは主に学校教育の中で、どのような能力や態度を身につける必要性が高いと思いますか」の回答をみると、「教科の基礎的な学力」で83.9%が『高い』（「とても高い」と「やや高い」の合計数値）と答えており、さらにそれが『身につけているか』（「とても身につけている」と「まあ身につけている」の合計数値）では65.6%となっていることなどから、7割弱の保護者は子どもの勉強の理解度において概ね満足している傾向が見られます。しかし問5の「必要性」における選択肢において、最も高い数値を示している項目は「善悪を判断する力（86.8%）」で、次いで「人間関係を築く力（84.6%）」となっており、ここから現在の学校教育においては、「人間力」の強化に対する期待が非常に高いことが見てとれます。

この傾向は保護者編／問6「学校（園・所）の先生に授業以外で特に期待することは何ですか」や保護者編／問7「あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか」でも顕著であり、それぞれの回答では、「他人への思いやりや心や生命の大切さ、人権について教えること（81.3%）」「ものごとの善悪を判断できる人（57.7%）」が高いことから、現状の教育環境の中では、子ども自身の自立への期待が大きいことがわかります。また一般町民の方からの回答も、ほぼ同様な傾向が見てとれます。

### <幼児教育・家庭環境・地域の教育力について>

幼児教育についてみると、保護者編／問8「あなたは、幼児教育の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか」において、「基本的な生活習慣の育成」が63.3%最も高く、次いで「ルールを守るなど規範意識の育成」が59.3%となっており、ここでも子どもの自立を形成するための基礎作りへの期待が見てとれます。

次に家庭環境についてみると、保護者編／問9（一般町民編／問8）「あなたは、「家庭の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか」において、「家族の団らんを作る」が54.8%（一般町民の回答では50.3%）で最も高くなっているのに対し、一般町民においては「子どもに対する教育の方法や心構えを保護者が学ぶ機会を設ける」が55.5%（保護者回答では38.4%）と最も高く、双方に相違がみられます。しかし保護者の回答でも「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」が43.6%と高くなっていることから、家庭教育における「保護者の教育」への必要性が共有されていることが見てとれます。

また地域の教育力についてみると、保護者編／問11（一般町民編／問10）「地域の教育力」

を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか」において、保護者や、一般町民ともに、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」がそれぞれ62.0%、72.3%と最も高くなっています。さらに一般町民の回答では「地域活動や行事など、活発にする」が40.6%と高くなっていることから、地域力の向上には、一般町民の参加性を高めた行事等を通じたコミュニケーション環境の活性化が期待されていることが見てとれます。

## 2. 今後の課題

今回の調査を通して、子どもを持つ保護者としては、学問そのものの理解は重要であるものの、それ以上に子どもの自立を促す教育内容と、またそれを把握できるコミュニケーション環境への期待が大きいことが見てとれます。

さらに一般町民において、保護者や子どもたちとのコミュニケーションの手段を求めている姿も見えており、今後の教育環境の底上げにおいては、地域のコミュニティをどのように形作るかが最大の課題であることが見てとれます。

# 2 課題ごとの概観

---

## 1. 子どものすこやかな成長を支える教育を推進する。

子どもの健やかな成長を支える教育の在り方に関しては、一般町民編／問5（保護者編／問6）「学校（園・所）の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか」において、一般町民、保護者ともに「他人への思いやりの心や生命の大切さ、人権について教えること」がそれぞれ88.4%、81.3%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」がそれぞれ69.7%、69.8%となっており、「心の成長」を司る教育への期待度が非常に高いことが見てとれます。また保護者編／問7（一般町民編／問6）「あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか」においては、「健康で丈夫な人」が58.0%最も高く（一般町民では49.0%）、心と体の健やかな成長を期待する保護者の気持ちが見てとれます。

## 2. 学校・家庭・地域連携による子育てに励む。

「地域の教育力」による子育ての現状に関しては、保護者編／問10（一般町民編／問9）「あなたの地域や家庭では、家庭教育や、地域の教育力が機能していると思いますか」において、『機能している』（「機能していると思う」と「ある程度は機能していると思う」の合計数値）が34.1%（一般町民では30.3%）となっており、「家庭教育」は『機能している』とする回答が55.7%（一般町民では47.7%）であることと比較すると、今後の「地域の教育力」の強化が「地域連携による子育て」推進には重要であることが見てとれます。

### **3. 質の高い学力が受けられる環境づくりを推進する。**

質の高い教育環境に関しては、保護者編／問4「あなたはお子さんが通われている学校（園・所）に、何を望みますか」において、保護者は「子どもの学校（園・所）での様子を保護者に伝える」が81.3%と最も高く、次いで「保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が58.7%となっていることから、保護者と学校との開かれた良好な関係性の構築を望む姿が見てとれます。

### **4. 町民が生き生きと学びあい、活動する意欲を高める。**

世代を超えた学びの環境に関しては、一般町民編／問10（保護者編／問11）「[地域の教育力]を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか」において、一般町民、保護者ともに「地域の大人が、地域の子どもたちに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」がそれぞれ72.3%、62.0%と最も高くなっています。さらに一般町民においては「地域活動や行事など、活発にする」が40.6%（保護者では26.9%）と高くなっていることから、町民として子どもに積極的に関与する環境を創造するためには、行事等によるコミュニケーションの場を通したふれあいに期待していることが見てとれます。

### **5. 京丹波町の自然、歴史・文化に対する意識を高め、地域文化を育み継承する。**

地域文化に対する意識に関しては、保護者編／問5（一般町民編／問4）「主に学校教育の中で、どのような能力や態度を身につける必要性が高いと思いますか。また、実際に身につけていると思いますか」において、「郷土や国を愛する心」の「必要性」に対して、保護者、一般町民ともに、『高い』（「とても高い」と「やや高い」の合計数値）がそれぞれ66.8%、66.5%と高いものの、実際には『身につけている』（「とても身につけている」と「まあ身につけている」との合計数値）ではそれぞれ37.4%、29.7%と「必要性」の半分前後となっていることから、まずは身近なふるさとの食材を生かした食育の推進や、歴史・文化活動などの実体験を通して、地域文化の継承へとつないていくことの必要性が見てとれます。



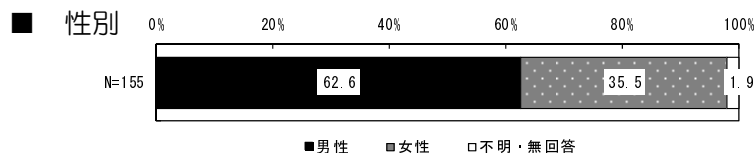
### Ⅲ 調査データ

1-1 回答者の居住<一般町民編>

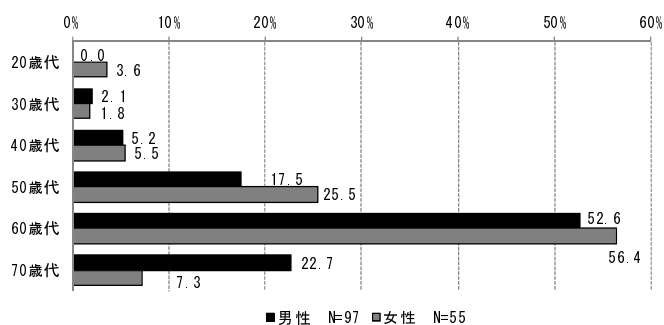
問1. 2. 3 性別及び年齢、  
(単数回答)

居住小学校区

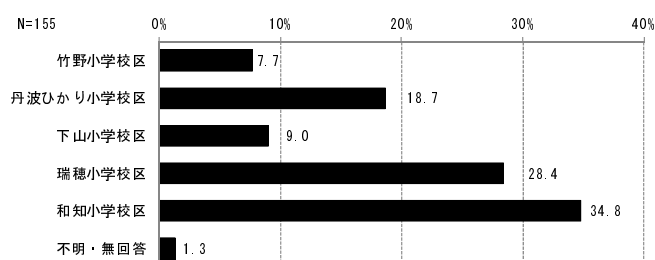
性別については、男性が62.6%、女性が35.5%となっており、年齢別については、60歳代女性が56.4%と最も高く、次いで60歳代男性の52.6%となっています。また、居住小学校区については、和知小学校区が34.8%と最も高く、次いで瑞穂小学校区の28.4%となっています。



■ 性/年齢別



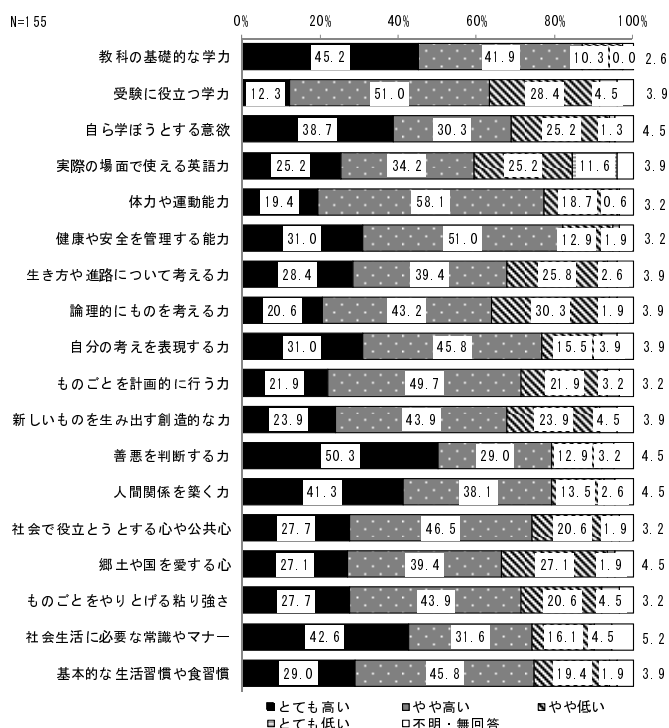
■ 居住小学校区別



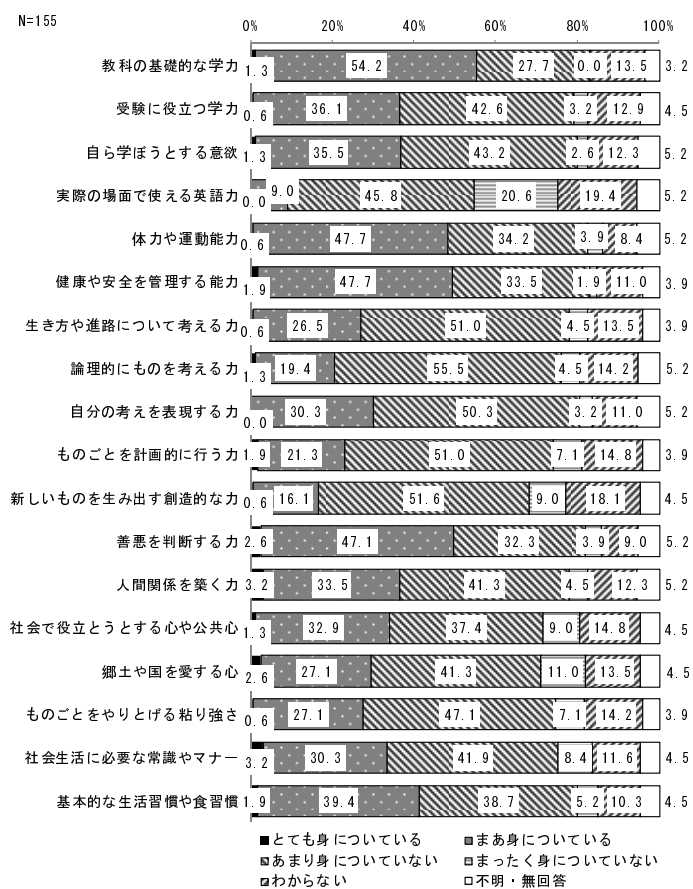
1-2 当校教育について / 一般町民編

問4 主に学校教育の中で、どのような能力や態度を身につける必要性が高いと思いますか。また、実際に身につけていると思いますか。 (単数回答)

学校教育の中で身につける「必要性」が高いと感じる項目については、「善悪を判断する力」が50.3%と最も高くなっており、次いで「教科の基礎的な学力」が45.2%となっています。また「身につけている」においては、「とても身につけている」項目がほとんど数値は低く、「とても身につけている」と「まあ身につけている」を合計した数値で見ると、「教科の基礎的な学力」が55.5%と最も高くなっていきます。



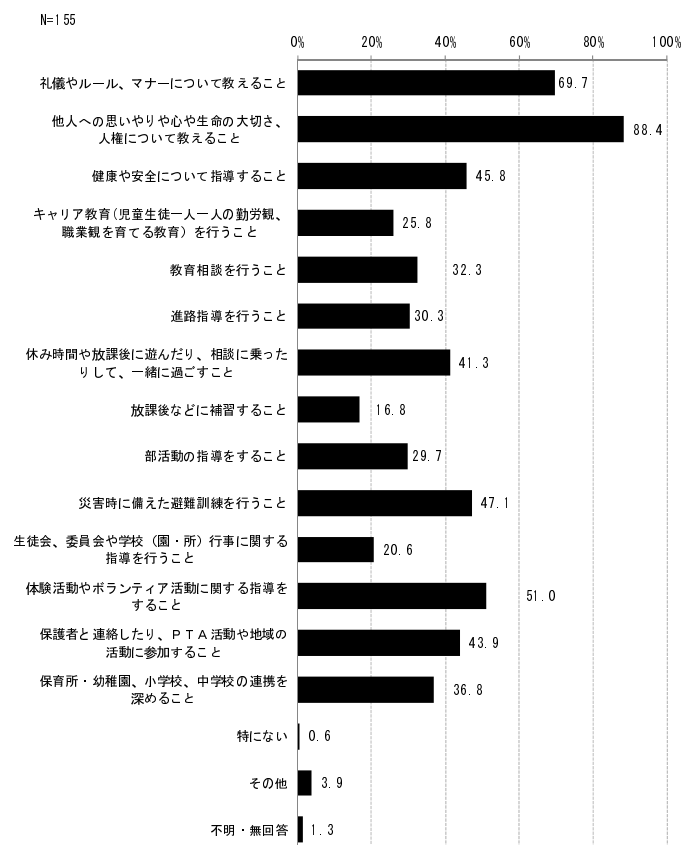
《身について》



問5 学校（園・所）の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。

（複数回答）

学校（園・所）の先生へ授業以外で期待することについては、「他人への思いやりや心や生命の大切さ、人権について教えること」が88.4%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が69.7%となっています。

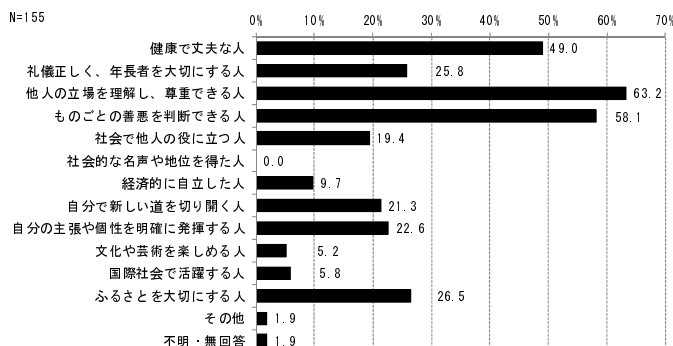


■ 年齢別

上段: 件数 下段: %	礼儀やルール、マナーについて教えること	他人への思いやりや心や生命の大切さ、人権について教えること	健康や安全について指導すること	キャリア教育(児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育)を行うこと	教育相談を行うこと	進路指導を行うこと	休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと
20歳代 N=3	3 100.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3
30歳代 N=3	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
40歳代 N=8	5 62.5	7 87.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5
50歳代 N=31	19 61.3	28 90.3	10 32.3	7 22.6	10 32.3	10 32.3	14 45.2
60歳代 N=82	53 64.6	72 87.8	40 48.8	23 28.0	28 34.1	25 30.5	28 34.1
70歳代 N=26	23 88.5	22 84.6	16 61.5	6 23.1	9 34.6	9 34.6	15 57.7
上段: 件数 下段: %	放課後などに補習すること	部活動の指導をすること	災害時に備えた避難訓練を行うこと	生徒会、委員会や学校(園・所)行事に関する指導を行うこと	体験活動やボランティア活動に関する指導をすること	保護者と連絡したり、PTA活動や地域の活動に参加すること	保育所・幼稚園、小学校、中学校の連携を深めること
20歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	3 100.0
30歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
40歳代 N=8	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5
50歳代 N=31	5 16.1	5 16.1	11 35.5	8 25.8	18 58.1	10 32.3	18 58.1
60歳代 N=82	13 15.9	26 31.7	37 45.1	14 17.1	38 46.3	40 48.8	25 30.5
70歳代 N=26	8 30.8	12 46.2	18 69.2	8 30.8	16 61.5	13 50.0	9 34.6

問6 あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。  
(複数回答3つまで)

子どもに期待する将来像については、「他人の立場を理解し、尊重できる人」が63.2%と最も高く、次いで「ものごとの善悪を判断できる人」が58.1%となっています。



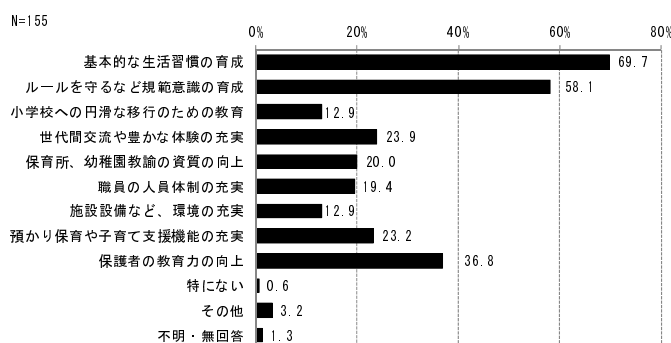
1-2 幼児教育、家庭教育、地域の教育

問7 あなたは、幼児教育の充実のために、どのような取組が必要

だと思いますか。

(複数回答3つまで)

幼児教育の充実化への取組については、「基本的な生活習慣の育成」が69.7%と最も高く、次いで「ルールを守るなど規範意識の育成」が58.1%となっています。



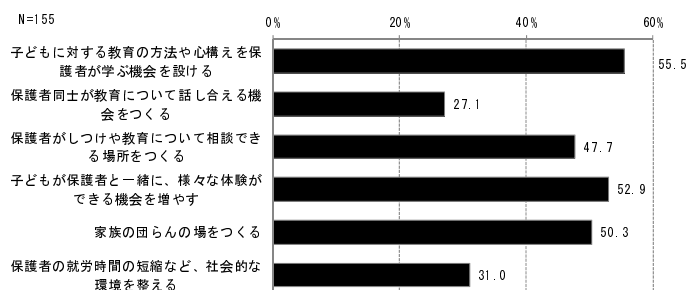
■ 年齢別

上段:件数 下段:%	基本的な生活習慣 の育成	ルールを守るなど 規範意識の育成	小学校への円滑な 移行のための教育	世代間交流や豊か な体験の充実	保育所、幼稚園教 諭の資質の向上
20歳代 N=3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	3 100.0	1 33.3
30歳代 N=3	2 66.7	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
40歳代 N=8	4 50.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0
50歳代 N=31	20 64.5	21 67.7	5 16.1	7 22.6	5 16.1
60歳代 N=82	59 72.0	47 57.3	10 12.2	21 25.6	16 19.5
70歳代 N=26	19 73.1	12 46.2	3 11.5	5 19.2	7 26.9

上段:件数 下段:%	職員の人員体制の 充実	施設設備など、環 境の充実	預かり保育や子育 て支援機能の充実	保護者の教育力の 向上
20歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
30歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
40歳代 N=8	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4 50.0
50歳代 N=31	6 19.4	4 12.9	10 32.3	12 38.7
60歳代 N=82	18 22.0	10 12.2	17 20.7	30 36.6
70歳代 N=26	5 19.2	3 11.5	6 23.1	10 38.5

問8 あなたは、「家庭の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。  
(複数回答3つまで)

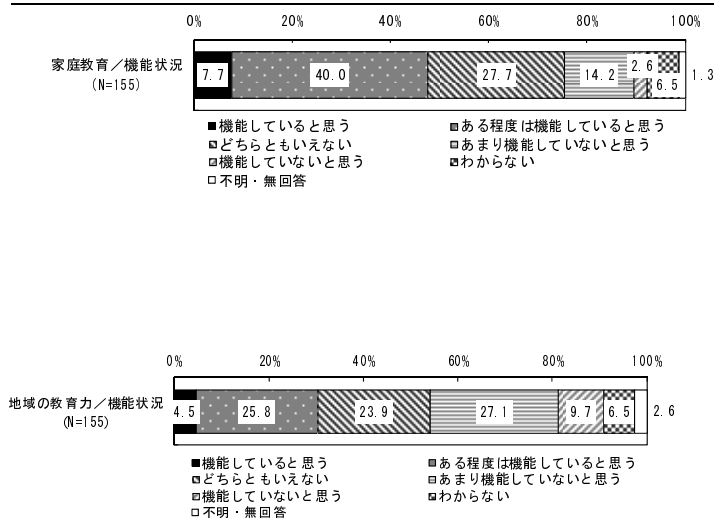
「家庭の教育力」を高める取組については、「子どもに対する教育の方法や心構えを保護者が学ぶ機会を設ける」が55.5%と最も高く、次いで「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が52.9%となっています。





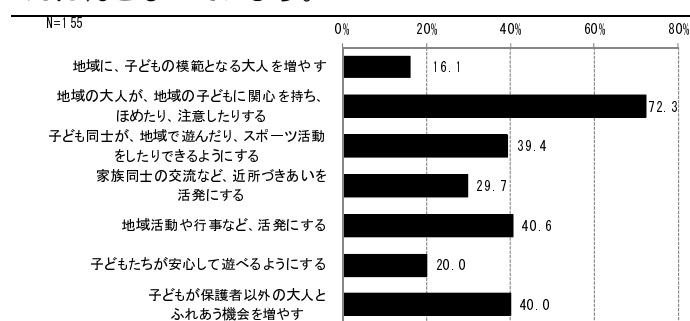
問9 あなたの地域や家庭では、家庭教育や、地域の教育力が機能していると思いますか。  
(各単数回答)

「家庭教育」や「地域の教育力」が機能しているかどうかについては、「家庭教育」では47.7%が『機能している』（「機能していると思う」と「ある程度は機能していると思う」の合計数値）と回答していますが、「地域の教育力」においては30.3%にとどまっており、『機能していない』（「あまり機能していないと思う」と「機能していないと思う」の合計数値）が36.8%と上回る数値となっています。



問10 「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。  
(複数回答3つまで)

「地域の教育力」を高める取組については、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が72.3%と最も高く、次いで「地域活動や行事など、活発にする」が40.6%となっています。



■ 年齢別

上段:件数 下段:%	地域に、子どもの規範となる大人を増やす	地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動をしったりできるようにする	家族同士の交流など、近所つきあいを活発にする
20歳代 N=3	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
30歳代 N=3	0 0.0	3 100.0	3 100.0	0 0.0
40歳代 N=8	3 37.5	5 62.5	2 25.0	3 37.5
50歳代 N=31	4 12.9	21 67.7	11 35.5	7 22.6
60歳代 N=82	9 11.0	61 74.4	35 42.7	27 32.9
70歳代 N=26	9 34.6	18 69.2	10 38.5	8 30.8

上段:件数 下段:%	地域活動や行事など、活発にする	子どもたちが安心して遊べるようにする	子どもが保護者以外の大人とふれあう機会を増やす
20歳代 N=3	3 100.0	0 0.0	2 66.7
30歳代 N=3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
40歳代 N=8	1 12.5	2 25.0	4 50.0
50歳代 N=31	14 45.2	9 29.0	13 41.9
60歳代 N=82	33 40.2	18 22.0	31 37.8
70歳代 N=26	11 42.3	1 3.8	11 42.3

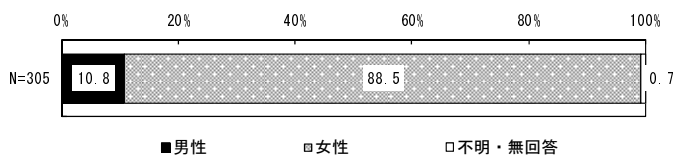
2-1 回答者の属性 / 保護者編

問1. 2 性別及び年齢

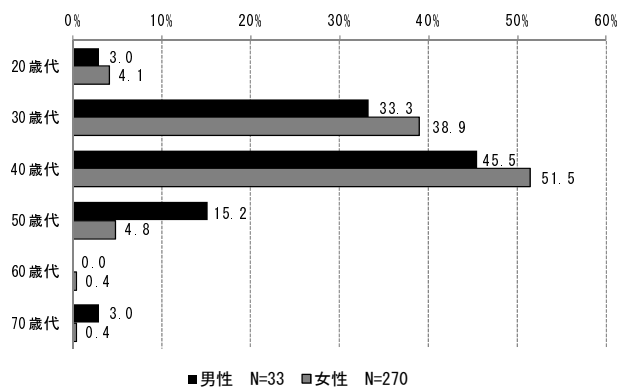
(単数回答)

性別については、女性が 88.5%で男性が 10.8%となっています。さらに年齢別については、女性では40歳代が51.5%と最も高く、次いで30歳代が38.9%となっており、また男性においても40歳代が45.5%、30歳代が33.3%となっています。

■ 性別



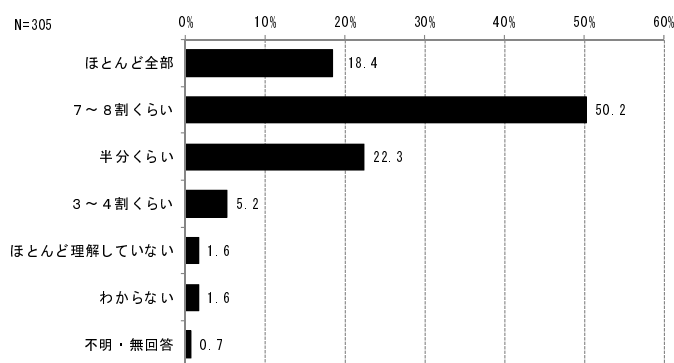
■ 性/年齢別



2-2 学校教育について<保護者編>

問3 お子さんは学校（園・所）の授業（活動）をどのくらい理解していると思いますか。  
（単数回答）

授業（活動）に対する理解度については、「7～8割くらい」が50.2%と最も高く、次いで「半分くらい」が22.3%となっています。また年代別で見ると、「7～8割くらい」の回答率は、20歳代から40歳代にかけて、低下している傾向が見てとれます



■ 年齢別

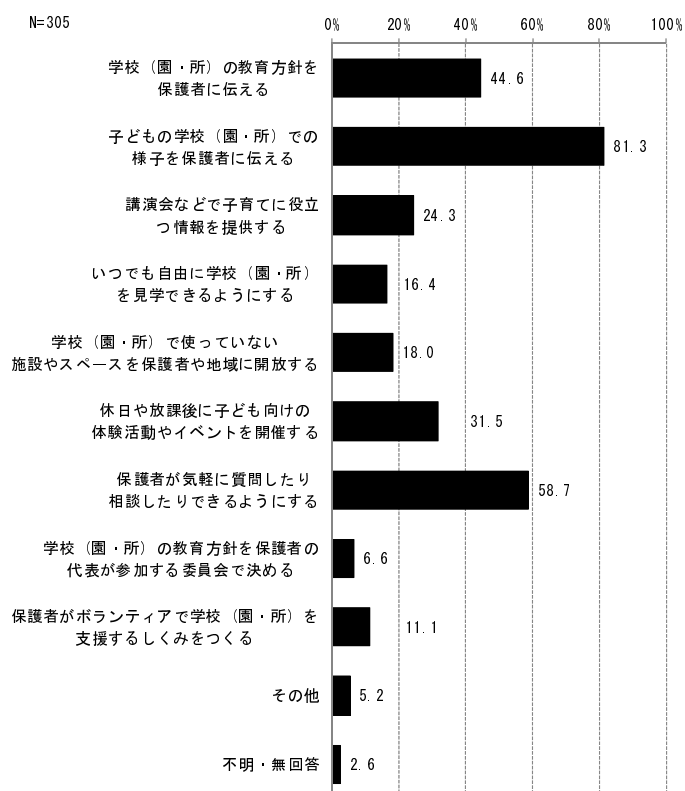
上段:件数 下段:%	ほとんど全部	7～8割くらい	半分くらい	3～4割くらい	ほとんど理解していない
20歳代 N=12	2 16.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0
30歳代 N=116	21 18.1	59 50.9	28 24.1	4 3.4	2 1.7
40歳代 N=154	30 19.5	75 48.7	33 21.4	9 5.8	2 1.3
50歳代 N=18	3 16.7	10 55.6	4 22.2	1 5.6	0 0.0
60～70歳代 N=3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

問4 あなたはお子さんが通われている学校（園・所）に、何を望みますか。

（複数回答）

学校（園・所）に対する要望については、「子どもの学校（園・所）での様子を保護者に伝える」が81.3%と最も高く、次いで「保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が58.7%、「学校（園・所）の教育方針を保護者に伝える」が44.6%となっています。

また年齢別については、子育ての中心的な世代である20～40歳代の回答を比較すると、「子どもの学校（園・所）での様子を保護者に伝える」の項目においては、40歳代が85.1%と最も高くなっていますが、その他の多くの項目では20歳代から40歳代にかけて数値が低下する傾向が見えます。



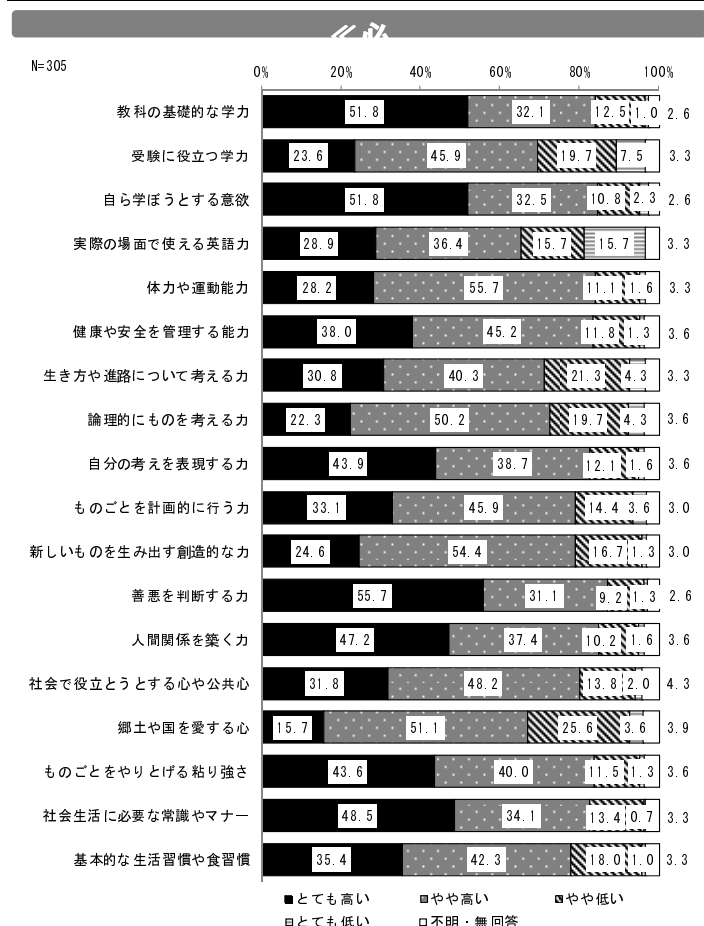
■ 年齢別

上段:件数 下段:%	学校(園・所)の 教育方針を保護 者に伝える	子どもの学校 (園・所)での様 子を保護者に伝え る	講演会などで子育 てに役立つ情 報を提供する	いつでも自由に学 校(園・所) を見学できるよ うにする	学校(園・所)で 使っていない 施設やスペースを 保護者や地域に開 放する
20歳代 N=12	6 50.0	10 83.3	4 33.3	2 16.7	4 33.3
30歳代 N=116	55 47.4	90 77.6	21 18.1	22 19.0	28 24.1
40歳代 N=154	65 42.2	131 85.1	43 27.9	22 14.3	19 12.3
50歳代 N=18	9 50.0	16 88.9	5 27.8	4 22.2	4 22.2
60~70歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

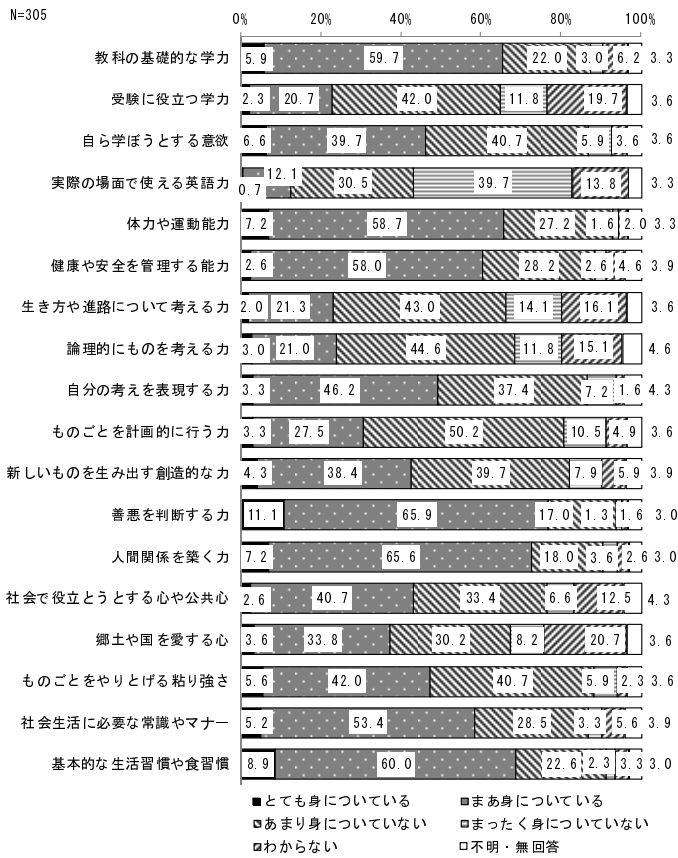
上段:件数 下段:%	休日や放課後に子 ども向けの体 験活動やイベン トを開催する	保護者が気軽に質 問したり相談 したりできるよ うにする	学校(園・所)の 教育方針を保 護者の代表が参 加する委員会 で決める	保護者がボラン ティアで学校 (園・所)を支 援するしくみ をつくる
20歳代 N=12	5 41.7	8 66.7	1 8.3	2 16.7
30歳代 N=116	37 31.9	69 59.5	7 6.0	12 10.3
40歳代 N=154	46 29.9	90 58.4	10 6.5	18 11.7
50歳代 N=18	6 33.3	9 50.0	2 11.1	2 11.1
60~70歳代 N=3	2 66.7	3 100.0	0 0.0	0 0.0

問5 お子さんは主に学校教育の中で、どのような能力や態度を身につける必要性が高いと思いますか。また、実際に身につけていると思いますか。(単数回答)

「必要性」が高いと感じる項目については、「善悪を判断する力」が55.7%と最も高く、次いで「教科の基礎的な学力」と「自ら学ぼうとする意欲」が51.8%となっています。また「身につけている」と思う項目においても、「善悪を判断する力」が11.1%と最も高く、「とても身につけている」と「まあ身につけている」を合計した数値としても、77.0%と最も高くなっています。



＜身について＞

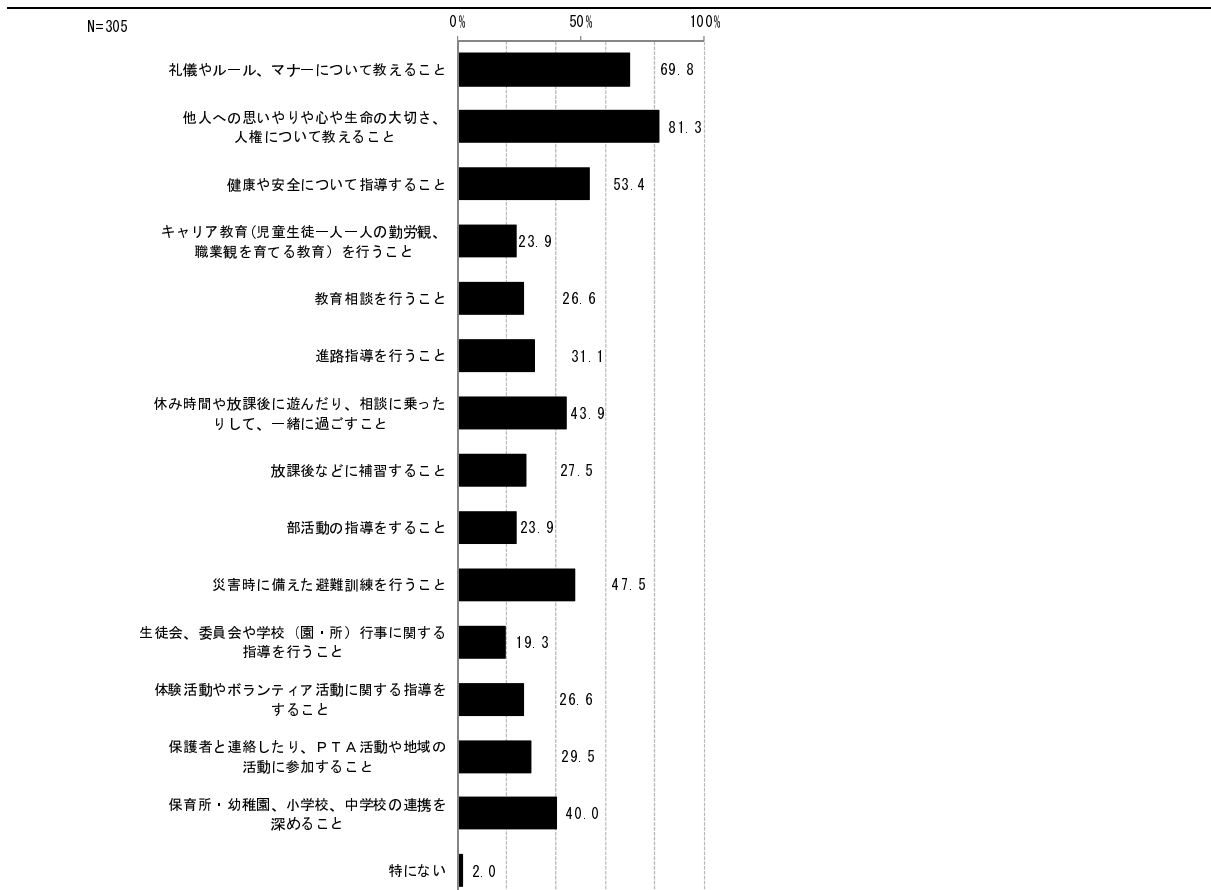




問6 学校（園・所）の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。

（複数回答）

学校（園・所）の先生に授業以外で期待することについては、「他人への思いやりや心や生命の大切さ、人権について教えること」が81.3%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が69.8%となっています。



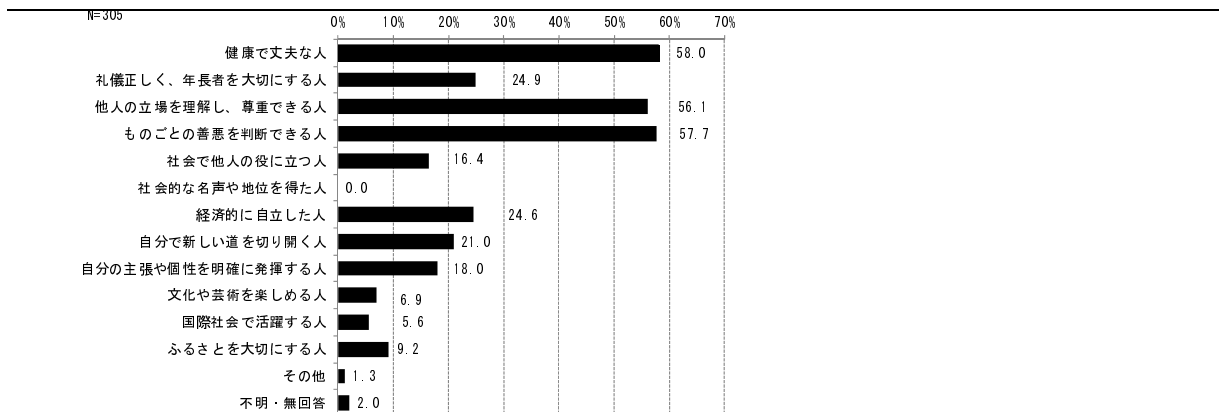
■ 年齢別

上段:件数 下段:%	礼儀やルール、マナーについて教えること	他人への思いやりや心や生命の大切さ、人権について教えること	健康や安全について指導すること	キャリア教育（児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育）を行うこと	教育相談を行うこと	進路指導を行うこと	休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと
20歳代 N=12	12 100.0	10 83.3	8 66.7	3 25.0	5 41.7	3 25.0	7 58.3
30歳代 N=116	87 75.0	93 80.2	62 53.4	23 19.8	30 25.9	27 23.3	44 37.9
40歳代 N=154	100 64.9	124 80.5	81 52.6	38 24.7	37 24.0	55 35.7	74 48.1
50歳代 N=18	12 66.7	18 100.0	10 55.6	7 38.9	9 50.0	9 50.0	7 38.9
60～70歳代 N=3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3

上段:件数 下段:%	放課後などに補習すること	部活動の指導をすること	災害時に備えた避難訓練を行うこと	生徒会、委員会や学校（園・所）行事に関する指導を行うこと	体験活動やボランティア活動に関する指導をすること	保護者と連絡した、PTA活動や地域の活動に参加すること	保育所・幼稚園、小学校、中学校の連携を深めること
20歳代 N=12	1 8.3	2 16.7	7 58.3	3 25.0	2 16.7	4 33.3	7 58.3
30歳代 N=116	23 19.8	25 21.6	60 51.7	21 18.1	27 23.3	34 29.3	47 40.5
40歳代 N=154	53 34.4	38 24.7	63 40.9	29 18.8	44 28.6	46 29.9	61 39.6
50歳代 N=18	6 33.3	8 44.4	13 72.2	6 33.3	6 33.3	6 33.3	7 38.9
60～70歳代 N=3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0

問7 あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。  
(複数回答3つまで)

子どもに期待する将来像については、「健康で丈夫な人」が58.0%と最も高くなっており、次いで「ものごとの善悪を判断できる人」と「他人の立場を理解し、尊重できる人」がそれぞれ57.7%、56.1%となっています。



■ 年齢別

上段:件数 下段:%	健康で丈夫な人	礼儀正しく、年長者を大切にできる人	他人の立場を理解し、尊重できる人	ものごとの善悪を判断できる人	社会で他人の役に立つ人	社会的な名声や地位を得た人
20歳代 N=12	9 75.0	4 33.3	8 66.7	8 66.7	2 16.7	0 0.0
30歳代 N=116	74 63.8	34 29.3	57 49.1	57 49.1	23 19.8	0 0.0
40歳代 N=154	81 52.6	34 22.1	91 59.1	97 63.0	20 13.0	0 0.0
50歳代 N=18	11 61.1	4 22.2	12 66.7	13 72.2	4 22.2	0 0.0
60～70歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

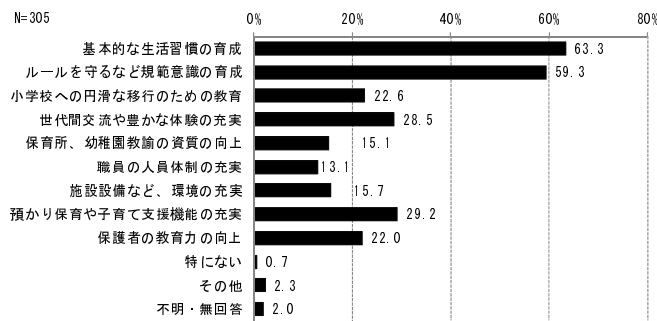
上段:件数 下段:%	経済的に自立した人	自分で新しい道を切り開く人	自分の主張や個性を明確に発揮する人	文化や芸術を楽しむ人	国際社会で活躍する人	ふるさとを大切にできる人
20歳代 N=12	0 -	2 16.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30歳代 N=116	22 19.0	20 17.2	24 20.7	11 9.5	6 5.2	11 9.5
40歳代 N=154	47 30.5	36 23.4	26 16.9	9 5.8	8 5.2	15 9.7
50歳代 N=18	4 22.2	4 22.2	3 16.7	1 5.6	3 16.7	0 0.0
60～70歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-2 幼児教育、家庭教育、地域の教育

問8 あなたは、幼児教育の充実  
のために、どのような取組が必要だと思いますか。

(複数回答3つまで)

幼児教育の充実化への取組においては、「基本的な生活習慣の育成」が63.3%と最も高くなっており、次いで「ルールを守るなど規範意識の育成」が59.3%となっています。



■ 年齢別

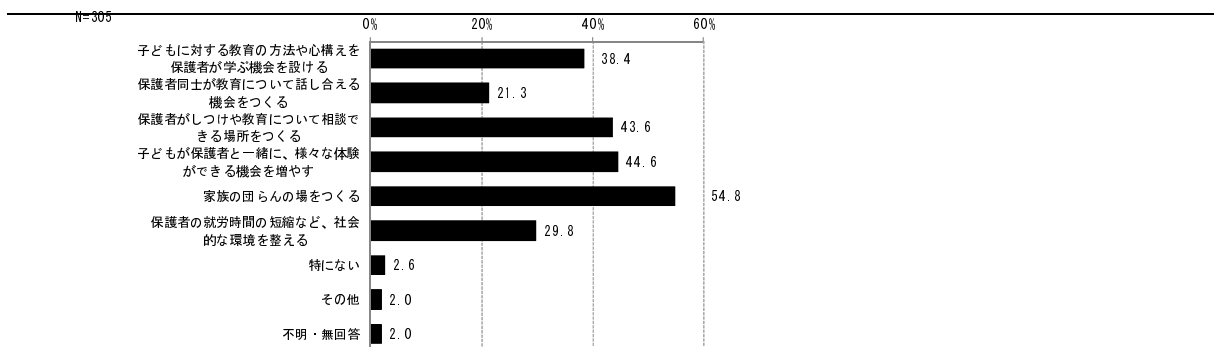
上段:件数 下段:%	基本的な生活習慣の育成	ルールを守るなど規範意識の育成	小学校への円滑な移行のための教育	世代間交流や豊かな体験の充実	保育所、幼稚園教諭の資質の向上
20歳代 N=12	9 75.0	9 75.0	6 50.0	4 33.3	2 16.7
30歳代 N=116	77 66.4	70 60.3	19 16.4	38 32.8	16 13.8
40歳代 N=154	91 59.1	89 57.8	42 27.3	41 26.6	21 13.6
50歳代 N=18	13 72.2	11 61.1	2 11.1	3 16.7	5 27.8
60~70歳代 N=3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3

上段:件数 下段:%	職員の人員体制の充実	施設設備など、環境の充実	預かり保育や子育て支援機能の充実	保護者の教育力の向上
20歳代 N=12	0 0.0	2 16.7	2 16.7	0 0.0
30歳代 N=116	16 13.8	15 12.9	40 34.5	27 23.3
40歳代 N=154	23 14.9	28 18.2	39 25.3	35 22.7
50歳代 N=18	1 5.6	2 11.1	8 44.4	3 16.7
60~70歳代 N=3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3

問9 あなたは、「家庭の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。  
(複数回答3つまで)

「家庭の教育力」を高めるための必要な取組については、「家族の団らんの場をつくる」が54.8%と最も高く、次いで「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が44.6%となっています。



■ 年齢別

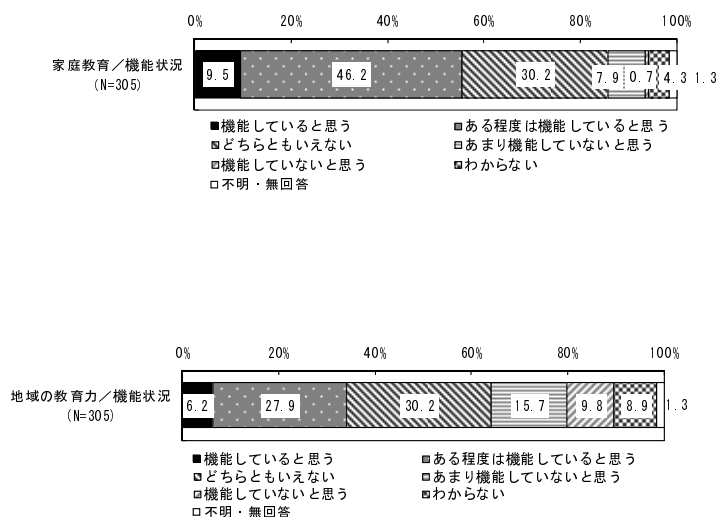
上段:件数 下段:%	子どもに対する教育の方法や心構えを保護者が学ぶ機会を設ける	保護者同士が教育について話し合える機会をつくる	保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる
20歳代 N=12	7 58.3	2 16.7	6 50.0
30歳代 N=116	44 37.9	27 23.3	45 38.8
40歳代 N=154	53 34.4	31 20.1	71 46.1
50歳代 N=18	12 66.7	5 27.8	8 44.4
60～70歳代 N=3	0 0.0	0 0.0	2 0.0

上段:件数 下段:%	子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす	家族の団らんの場をつくる	保護者の就労時間の短縮など、社会的な環境を整える
20歳代 N=12	9 75.0	6 50.0	1 8.3
30歳代 N=116	50 43.1	65 56.0	37 31.9
40歳代 N=154	68 44.2	86 55.8	48 31.2
50歳代 N=18	7 38.9	7 38.9	5 27.8
60～70歳代 N=3	1 33.3	2 66.7	0 0.0

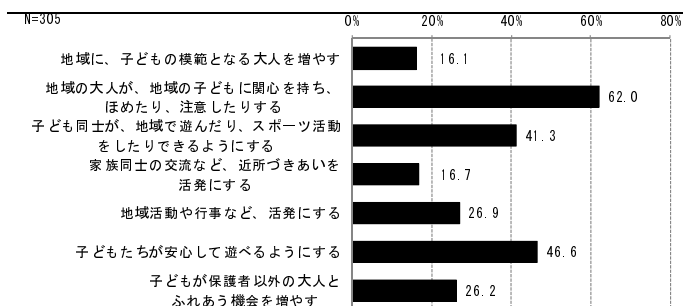
問 10 あなたの地域や家庭では、家庭教育や、地域の教育力が機能していると思いますか。  
(各単数回答)

「家庭教育」や「地域の教育力」が機能しているかどうかについては、「家庭教育」が『機能している』（「機能していると思う」と「ある程度は機能していると思う」の合計数値）が 55.7%となっていますが、「地域の教育力」においては 34.1%と低い数値となっています。



問 11 「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いませんか。  
(複数回答3つまで)

「地域の教育力」を高める取組については、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が 62.0%と最も高くなっており、次いで「子どもたちが安心して遊べるようにする」が 46.6%となっています。



### 3. その他・自由回答集

一般町民からの「その他・自由回答」	
問5	学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。
	その他回答
	過去の戦争等についての教育
	小学生時は基礎学力の徹底で十分
	日本国憲法への理解
	チャレンジ精神の醸成
	服装などのT.P.Oの教育
	教師としての威厳
問6	あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。
	その他回答
	心にゆとりをもった人
	自立し周囲を大切にできる人
	くじけない精神力を持った人
問7	あなたは、幼児教育の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。
	その他回答
	大人（保護者も含めて子ども以外すべての人を含む）の再教育
	ルールの順守と精神的に強い子どもとなる取組
問8	あなたは、「家庭の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
	その他回答
	地域のイベント等の行事
	生きることへの楽しみを教えること
	学校との連携
問10	「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
	その他回答
	P.T.A中心ではなく、近隣との交流が必要
問11	現在の教育や子育てに関して、ご意見などがございましたら、自由にご記入ください。
	自由回答
	心の教育を重視して、地元を愛する心を培えば将来に繋がる
	異世代間のコミュニケーション
	親と教師との信頼関係の強化
	教員は教育委員会やP.T.A対策と同様に現実の教育にも専念
	子どもの良さを引き出す教育
	教育に関わる職員の資質の向上
	学校の自由選択制を採用など、町の今後の在り方の抜本的な検証
	不自由さから学ぶ教育
	子どものしつけの責任は、親にあることを教える
	大人も含めて悩みを一人で抱えないで、相談できる窓口が必要
	子ども同士が自由に遊べる場
	親が働く企業の子育て支援が重要
	大人の過干渉が問題
	自立した精神を培う
	携帯電話の弊害を小学校で教育
	竹野小学校の教育環境は素晴らしい
	日本という国家に関する教育の推進
	ワークライフバランスの視点
	教育における長にあたる人の成果への意欲が乏しい
	教育は、基礎的学力を身につけることが最も重要
	教育現場における行政の関与の明確化
	通学を安全にするインフラ整備
	共働き夫婦が利用できる児童俱樂部

保護者からの「その他・自由回答」	
問4 あなたはお子さんが通われている学校（園・所）に、何を望みますか。	その他回答
	すべての子どもに平等な対応
	身近にある自然を活かした園外保育の実施
	保護者だけでなく地域の皆が学校を支援する仕組み
	現状で良い
	学校で使うもののハザーや譲ってもらえるような情報
	大雨警報等の時は、むしろ避難場所である学校で授業させた方が安全
	教職員は教育のプロとしてしっかりとした指導
	土曜保育の午後の延長
	緊急連絡（警報や防犯）のメール対応
	美味しい給食
	交通安全のアンケートをして、マナーや看板設置などを改善
	いじめの無い学校
問6 学校（園・所）の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。	その他回答
	満足している
	礼儀やマナーは家庭で教えるように指導
	職員間での災害時対応の明確化
	高学年が低学年のお手本になり面倒をみるなどの指導
	PTA活動の効率化
	子どもとの信頼関係の構築
	遠足の実施
	ネットやDV、セクハラ等から身を守る方法やマナーの教育
	地場産業への理解の促進
	一人ひとりの自己肯定感を育む
問7 あなたは、子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。	その他回答
	自立心旺盛で他人を思いやれる人
	先祖を大切にすること
問8 あなたは、幼児教育の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。	その他回答
	土曜日の保育時間の延長
	子育てに対する社会の理解
	家庭と教育現場とのコミュニケーション
	母親との過ごす時間の確保
	個性的な保育環境
	地元産にこだわった安全な給食・食育
問9 あなたは、「家庭の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。	その他回答
	親自身の教育
	子どもの話をよく聞くこと
	既存の取組に参加すること



問11 「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。	
	その他回答
	子育て環境をまず優先すること
	地域行事の実施
	コミュニティ施設の増設
	農業の活用
	過疎化の防止
問12 現在の教育や子育てに関して、ご意見などがございましたら、自由にご記入ください。	
	自由回答
	親や学校は互いの役割を理解し、しっかりと努めるような大人自身の努力
	子どもたちだけで安全に遊べる環境
	放課後・土曜日等を活用した補習時間などの実施
	スポーツを通じたルールの学習と体力作りの場
	子どもの教育は、大人自身の自覚が重要
	食育イベントの開催や、その他子育て相談が電話でも可能なサービスの実施
	家庭内だけでなく、学校とのコミュニケーションを図れる機会
	アンケート調査に協力する意味とは
	田舎ならではの情報端末を活用した教育の推進
	図書館の休日開館を
	子どもが楽しみにできるような給食の実施
	教職員の、保護者からの相談はクレームではないとの理解
	大人が率先した挨拶の実践
	女性の社会進出は、保育のサポート制度の充実なくしては不可能
	「正しくしかる」ための大人の教育が必要
	和知地域住民として、小中一貫校をつくるなど、地域に合った教育環境の実現
	継続的で幅広い幼児教育を受けられる場が少なすぎる
	子どもが享受できる支援は、学校単位ではなく地域で平等に
	ゆとり教育からの完全な脱却
	障がい者教育に対して一般教職員の理解が無い
	学校と家庭の双方で命の大切さを教える努力
	学校で実施している職場体験等、素晴らしい取組が実現している
	教育は地域全体の問題だと思うため、普及活動に参加したい
	母子家庭、父子家庭への平等な対応
	他府県での良い事例等の採用
	地域行事への参加よりも、ゆったりとした家庭内教育が大切
	保育所周辺に対する災害対策
	緊急時に子どもを預ける支援制度
	体罰に対する厳罰よりも協調性の教育重視
	保育士の負担軽減を優先した保育所の運営方針の改善
	教員の経歴と授業内容とのミスマッチの改善
	原発災害等も含めた災害対策の具現化
	この地域の学力の低さへの懸念
	過度な学校と親との連携における、なれ合いへの懸念
	子育てには京丹波が最善、と思える大人同士が尊敬し合える仕組み
	学ぶことが楽しいと思える教育環境
	各学校での学童保育を実施
	ベテラン教師の減少と新任優遇は安心感が得られない懸念